

2位PGMが アコーディア株をTOB 合計300近い コースはどうなる?

今回は11月16日から来年1月17日まで約2カ月間、買いつけ単価は1株8万1

11月15日(木)の株式取引

が終了した午後3時。ゴルフ場運営2位のPGMホールディングスが同1位のアコーディアゴルフに対するTOB(公開買付け)の開始を宣言した。

TOBとは、市場に対して、自分はどこそこの会社の株を大量に買いたいので、「株主のみなさん、どうぞ私に売ってください」と宣言して株の買い集めをする手続きだ。買いつける価格、応募期間などを決めて公表する。

PGMとアコーディアの比較

アコーディアゴルフ		
ゴルフ場数	135	保有 132
	※1	契約 3
主なコース	石岡GC(茨城県) 習志野CC(千葉県) 成田東CC(千葉県) 大厚木CC(神奈川県) 山の原GC(兵庫県)	

※1 2012年10月31日現在

PGM		
ゴルフ場数	126	保有 121
	※2	運営受託 2
		リース運営 3
主なコース	利府GC(宮城県) 美浦GC(茨城県) 総武CC(千葉県) 富士チサンCC(静岡県) アークよかわGC(兵庫県)	

※2 2012年5月28日現在

営陣に、経営統合交渉のテーブルについてもらうための手段」であると説明した。

神田氏は今年1月、アコーディアの竹生道巨前社長らアコーディアの幹部に対し、個人的に経営統合を提案するも、PGMの経営状態が今ひとつなので時期尚早、という回答を突きつけられている。その後、アコーディア内のコンプライアンス問題が発生したため、交渉はいったん凍結されたが、「コンプライアンスが正常化し、太平洋クラブの買収がとん挫したことで、アコーディアの企業価値の棄損も回避することができた」(神田氏)。加えて、6月以降、PGMの業績は急改善しており、「機は熟した」と判断したものの、「最低でも2割くらいは株を保有していないと、アコーディア側も聞く耳は持たてくれないだろうからTOBに踏み切った」のだという。

神田氏はアコーディアの役員を務めていたころからの筋金入りの「統合論者」。成長が鈍化した2強のさらなる成長には統合以外ない、という

かねてからの持論を、会見の席上で熱っぽく語った。

一夜明けた16日の証券市場、アコーディア株はいきなりストップ高を付けたまま買いが殺到、売りが出ないまま取引を終えた。なにしろ、8万1000円で買う人が現れたのだから、ストップ高は続き、て近く8万1000円近辺に達するだろう。

注目に値するのは、PGMの株価も一時ストップ高をつけたことだ。終値こそやや下げたが、市場が2社の統合を評価したことは間違いない。TOBは、事前に買いつける対象になる相手先と協議をし、相手先の取締役会が賛同

したら友好的TOB、反対したら敵対的TOBになる。

今回、PGMは事前協議なしでTOBを開始しているの、アコーディアはこれから1~2週間以内に賛同するの、か反対するのか、意志を決めなければならぬ。

事前協議なしのTOB開始は行儀が悪いといえは悪い。やられる側にとってこれほど不愉快なことはない。とはいえ、市場は統合交渉の場作りのためのTOBを評価した。不愉快だからイヤだ」とはいえないアコーディアとしては、今後、難しい対応を迫られることになったのは間違いないだろう。

次号「100切りなら僕たちプロキャディにお任せ!読むだけでOK、レッスンもしません」は11月27日(火)発売です



指の絆創膏が
気になる方に。

透明な被膜で傷口をガード
コロスキン

第3類医薬品

小切り傷・すり傷・さかむけ・あかざれ
コロスキン

ご使用の際は「使用上の注意」をよく読んで正しくお使いください。
株式会社 東京甲子社 東京都千代田区岩本町3-10-9
コロスキン 検索